

講義科目での アクティブラーニング

第3期中期計画において、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を学部・大学院ともに全開講授業の6割以上で導入することを掲げています。本学では「4つの視点から目指すアクティブ・ラーニング」を挙げて、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れた授業が実践されています。

今回、主体的・対話的な学びの視点から多人数授業における発問や課題を中心に授業デザインをされている名古屋大学高等教育研究センターの中島英博先生のお話を伺い、本学教員が円滑にアクティブ・ラーニング授業を実践できることを期待します。

2019 **2.27** 水

申込
不要 入場
無料

開催時刻 13:20～14:50

場所 **愛知教育大学**
本部棟第一会議室

参加対象 **大学教職員及び学生**

ナカ ジマ ヒデ ヒロ
講演者 **中島 英博** 先生
名古屋大学高等教育研究センター(准教授)



アクティブラーニングは、議論や発表など活動中心の授業と誤解されがちですが、知識の習得と活用など講義科目でこそ取り入れるべき考え方です。

本講演では、発問や課題を中心に授業を組み立てることで、講義科目でアクティブラーニングを取り入れるための工夫と事例を紹介します。

問い合わせ先

愛知教育大学 企画課 教育企画室 教育企画係
TEL:0566-26-2717



プログラム

- 13:10～ 受付開始
- 13:20～13:25 開会あいさつ
5分
- 13:25～13:30 講師紹介
5分
- 13:30～14:30 中島先生ご講演
60分
- 14:30～14:45 質疑応答
15分
- 14:45～14:50 閉会あいさつ
5分